



The Y's Men's Club of Sendai

仙台ワイズメンズクラブ 2017 年 9 月報

- 国際会長主題 「ともに光の中を歩もう」
- アジア太平洋地域会長主題 「ワイズ運動を尊重しよう」
- 東日本区理事主題 「広げよう ワイズの仲間」
- 北東部長主題 「距離に負けるな北東部 クラブの個性を磨こう」
- クラブ会長主題 「クラブ ファースト」

会 長 横倉 純
 副 会 長 今澤智代
 書 記 佐々木絹子
 会 計 田中京子
 メネット会長 田村成子
 担当主事 鈴木陽子

仙台クラブ事務所 : 〒980-0822 仙台市青葉区立町 9 番 7 号 仙台YMCA内
 仙台クラブ Facebook: <https://www.facebook.com/sendaiys/>

<今月の聖句>

「何事にも時があり、天の下の出来事にはすべて定められた時がある。生れた時、死ぬ時、植える時、植えたものを抜く時、殺す時、癒す時、破壊する時、建てる時、泣く時、笑う時、嘆く時、踊る時、石を放つ時、石を集める時、放つ時、裂く時、縫う時、黙する時、語る時、愛する時、憎む時、戦いの時、平和の時、人が労苦してみたところで何になろう。」

コレヒトの言葉 第3章1節～9節

9月の例会

日 時 : 9月19日(火)

19:00~21:00

会 場 : 仙台YMCA立町会館 会議室

内 容 : ゲストスピーチ 佐々木孝さん

演題 : 「あなたはどんな人? 誰とでも
仲良くなれる性格診断」

司 会 : 高松 成士

食前感謝 : 阿部 靖

8月例会報告

在籍者	18名
出席者	11名
メイキャップ	0名
ゲスト・ビジター	0名
メネット・コメント	2名
出席率	57.9%
ニコニコ	11,000円



巻頭言

「新たな役割を！」

高松 成士

平成 28 年 3 月 31 日に改正社会福祉法が成立し、平成 29 年 4 月 1 日からの本格施行が始まり、保育園も一層高い公益性を担保する中での役割発揮が求められています。

民間の社会福祉事業の自主性の尊重と経営基盤の安定という社会的要請から、社会福祉法人は昭和 26 (1951) 年に制度化されました。その後、制度の抜本的な見直しはなされませんでした。長い年月の間に社会や社会福祉制度の変化、そして平成 12 年に社会福祉サービスの供給主体に民間企業等の参入が可能となったこと、また一部の社会福祉法人の不適正な運営への指摘等が背景となり、社会福祉法の改正が始まりました。

社会福祉法改正前に、公益法人制度改革が平成 14 年から足掛け 10 年ほど要したのに対し、社会福祉法人制度改革は平成 26 年より 3 か年という短期間に行われました。準備期間、検討期間等、公益法人制度改革を例に進められように感じます。到着点が曖昧なまま会計基準の変更、法人の改編を諮らざるを得ない移

行作業を強いられる中、一つ一つ十分な精査を必要とするものでした。その作業は今も職員の処遇改善等で法人側に半強制的に押し付けられています。そして、今般の社会福祉法改正で法人に求められている「経営組織のガバナンスの強化」、「事業運営の透明性の向上」、「財務規律の強化」、「地域の公益的な

取組を実施する責務」、「行政関与の在り方」を各法人並びに施設が如何に取り組むべきかが次の課題となってきました。

先にも述べたように一部の社会福祉法人の不適正な運営を改善する目的で行われる「行政の関与（指導監査）」は人事労務管理、経理、入所処遇という給付事業に止まらず、地域福祉に積極的に関わり、公益的な活動・事業を新たに開発していくこと、「地域の公益的な取組を実施する責務」も強く求められていくと思われます。その中、保育施設のみを運営するYMCAの社会福祉法人は、行政から求められる保育事業（社会福祉事業）だけでは足りず、如何に責務を果たすかが必要となってきます。そのヒントが平成29年2月、厚労省より『「地域共生社会」実現に向けて』でまとめられています。それは、「分野ごとの縦割りの支援から、総合的・包括的に『丸ごと』に個人や家庭を支援していくこと、そして他人事ではなく、『我が事』として地域づくりを進めていくことで社会的孤立や制度の狭間の課題に取り組んでいくこと」が提案されています。平成30年以降には、「社会福祉法を改正し地域課題の解決力強化の取組を促進する」こと、「身近な圏域で、住民が主体的に地域課題を把握し解決を試みる体制づくりや、市町村において、分野横断的な相談支援体制の構築の取組を普及する」を軸に改革を進めていくとされています。

さてYMCA 保育園ではどのような取組を進めるべきなのでしょう。開設以来続けている「地域活動事業」としての行事やセミナー、子育て相談などで足りるのでしょうか。地域の協力者や有識者、教育機関、児童館などと更に連携を深め地域の課題解決に更に取り組むことが求められるのでしょうか。1998年7月27日、仙台YMCAが地域と社会の期待に応えるべく設立された社会福祉法人仙台YMCA 福祉会。設立20周年を迎える年2018年度、YMCAとしてまた一つ、地域で大きな役割を担うことが求められています。

9月強調月間「ユース（地域奉仕事業）」

今月の強調月間は「ユース（地域奉仕事業）」です。ワイズメンズクラブのユース事業はYIA (Youth Involvement and Activities) ワイズが行う様々な事業に若者たちを巻き込む活動の奨励、ワイズ・ユースクラブの育成、ユースコンポーションの支援等を行う事業。YEPP (Youth Educational Exchange Program) ワイズメン子弟高校留学生交換事業。STEP (Short Term Youth Exchange Program) ワイズメン子弟およびワイズ活動を理解した青少年の短期海外教育交換事業があります。今年はYIAのYVRF (ユースボランティア・リーダーズフォーラム) が9月8日～10日に東京YMCA山中湖センターで開催されます。

8月例会報告

日時：2017年8月25日（金） 18：30～21：00

会場：藤崎ピアガーデン（仙台市青葉区一番町）

出席者：阿部・今澤・岡・岡メネ・小幡・佐々木・鈴木・高松・田村・田村メネ・中川・横倉・吉田
13名

仙台青葉城9名・仙台広瀬川15名・石巻広域3名・もりおか2名・鈴木北東部長

<例会模様>

8月25日（金）仙台広瀬川クラブの企画により初の試みとして、藤崎百貨店屋上の特設ピアガーデンにて、4クラブ合同の納涼例会が開かれた。4クラブにもりおかクラブの井上メン・メネット、そして鈴木北東部長も出席、総勢43名が集いました。

同日朝に当クラブの星曠夫ワイズメンの訃報の悲しい知らせがあり、仙台クラブの面々は悲しみの中でもあった。





広瀬川クラブ加藤メンの司会で開会、開会点鐘はもりおかクラブの井上会長、持参した南部風鈴でチリーン！ワイズソングの後、広瀬川クラブ及川会長から「昨日まで鬱陶しい天気続きで心配しましたが、今日を待っていたかのようにビアガーデン日和となりました。これも皆さんの日頃の心がけの賜物と感謝いたします。」と述べられた。ゲスト紹介に続き、村井メンの食前感謝があり、青葉城クラブ加藤会長の発声で、各自セルフで注いできた思い思いの生ビールのジョッキを高く掲げカンパ〜イ。つまみは魚・肉・野菜・スイーツと多岐にわたり、こ

ちらも各自セルフで皿に盛り、杯を重ね、腹ごしらえが整った頃、各クラブから近況の活動報告が述べられた。我がクラブからは9月例会でゲストスピーチがあるので別途案内をしますから出席されてください、と予告アピールがなされた。

鈴木北東部長挨拶では「私がワイズに入会し良かったと思うことは、いろんな人々に会えることです。なんと素晴らしいことでしょう。」と語られた。

余興では「クイズ 知らなかった!？」の〇×問題。①日本で初めてビアガーデンを開設したのは東京銀座である。×(大阪)②日本で一番面積の広いビアガーデンは札幌にある。〇(13,000席)③日本で最初にビールが飲まれたのは安土桃山時代である。×(江戸時代)④世界最古のビールの起源は4000年~6000年前である。〇(メソポタミア文化)などであった。

ニコニコ、誕生祝いと続き、閉会挨拶は仙台クラブ横倉会長、企画をされた広瀬川クラブへ、また遠路を来て頂いたゲストの皆さんに感謝の言葉が述べられ、星ワイズメンの悲しみに触れ、前夜式、告別式の日程も周知された。

石巻広域クラブ日野会長の閉会点鐘にて、会が閉じられた。

尚、広瀬川クラブより、出席者全員にエコ商品の携帯箸がプレゼントされた。



星曠夫ワイズメンを偲んで

横倉 純



星先生から5月24日消印のハガキを頂戴しました。12月から入退院を繰り返して、3月から小康を得て家の近辺のみ歩行できるようになったが、この度、パソコンを閉じることにしたので、今後の連絡はFAXにてお願いしたい、とされたためられていた。ハガキを手にし、ご自宅に電話を入れると、メネットさんが出られ先生に替わられ、少ししんどそうなお声ではあったが、しっかり会話することができた。通院はどうされているんですか？とお聞きすると「家族総出でサポートしてもらい行ってます」とのことであった。そしてFAXにテスト送信をさせてもらい、受話器を置いた。その3ヶ月後の8月25日に星先生の訃報を受けるとは思いもしていませんでした。

胃がんを発病後は、自らの専門分野でもあり、その闘病は如何ばかりであったかと推察されますが、最後まで誠実を伝えていただきました。

星先生は93-94年度に46代目の仙台クラブ会長を担われたが、会長を決めるのに難航している

な～、とその前年度に入会をしたばかりの私は他人事のように伺っていた。同時にその私が名ばかりの書記を仰せつかった。開業医として多忙の中、役員会の開会時間を変更したりなどし、諸会議にも出席され会長職を全うされた。2年後の95-96年度に、まだ右も左も定かでないまま、私が会長を受けることになったのだが、その折に星先生から手紙で「世には奉仕団体をはじめ、沢山の団体があるが、会長は名誉職で会長以下が主体となって活動する団体と、会長が主体となって活動する団体があります。ワイズメンズクラブは9割がた会長が働く団体ですが、無理をせず、肩の力を抜いて務められてください」とアドバイスを頂いたことが、忘れられません。多分私を見ていて、心配なところもあり、親心でもあったかと思えます。

星先生が会長時に友人、知人の方々にワイズを紹介され、数人の新ワイズメンが誕生しました。その後、その子ワイズから孫ワイズも誕生、皆それぞれ大事な役割を担い尊い働きをしておられます。

26歳、弘前でのインターン時、自ら洗礼を受けられクリスチャンに、その後努力を重ねられ、43歳で「星外科消化器科医院」を開業、家族に、患者さんに、教会に、YMCAに、社会に、そしてワイズメンとして誠実に働き尽力されました。

星先生、ありがとうございました。どうぞ安らかにお休みください、心からご冥福をお祈り申し上げます。



第46回仙台YMCAクリスマス第1回実行委員会報告

吉田 一恵

2017年8月28日(月)19時から仙台YMCA立町会館で開催されました。

仙台クラブからは吉田が出席、仙台広瀬川クラブからは松本京子メネット会長、多田純子メネット、阿部松男メンの3名、仙台青葉城クラブは涌澤博実行委員長の出席でした。礼拝、讃美歌 371「このこどもたちが」を合唱、加藤雄一校長による聖書朗読、祈祷がありました。涌澤博実行委員長の挨拶、実行委員一人ずつの自己紹介がありました。小林尚美事務局より昨年度の実施報告のあと協議にはいりました。内容につきましては次のとおりです。

- ① 開催月日時間については2019年12月1日(金)18時から、
- ② 内容については2部制で、1部：礼拝、(案)ゴスペル合唱団に入ってもらい音楽礼拝のようにする。2部：交流会、ゲーム等の交流をメインとしたものとする。
- ③ テーマについては事前に委員からアンケートを取った結果、笑顔(Smile)、平和(Peace)、みんななどという単語が多かったのでPeace & Smileと決定しました。
- ④ チケット販売価格については前年と同様で一般：1,000円、学生(中学生以上)：500円、小学生：300円、小学生未満および留学生とその家族は無料とした。
- ⑤ クリスマスカードコンテストについては今年も行う。仙台YMCAの活動を広げるきっかけとなり、会場に来られなくてもカードを応募することで参加した気持ちになれるのではという事で、石巻広域クラブにも協力を依頼し、遠方の方も応募できるようにしました。それから、役割の分担について話し合いました。

第2回実行委員会は9月25日(月)と決定、閉会となりました。



横浜室内合奏団&洗足音楽大学コンサート

今澤 智代

8月7日、横浜室内合奏団&洗足音楽大学コンサートが行われました。4~5日前に担当主事の鈴木さんから「多くの人たちに楽しんでもらいたいのので、ぜひお時間をつくってお越しください」との連絡が入り、参加しました。



場所は仙台YMCA立町会館の4階ホール、時間は午前11時~12時。「音楽とオペラを楽しもう!子どもたちにお届けする夏のコンサート」と題して開催されました。共催は、横浜つづきワイズメンズメン&ウィメンズクラブ、宮城4ワイズメンズクラブ連絡会です。

会場には、YMCA関係者、ワイズメンズクラブの方々、そして幼稚園児や小学生のかわいい子どもたちも集まっていました。演奏者は7名で、フルート、クラリネット、ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ、コントラバスをそれぞれ担当していました。

横浜室内合奏団は、プロの演奏家約15名で構成されていました。発足当初の活動は、バロック音楽が中心でしたが、もっとお客様に楽しんでほしいという思いから、前半はバロック音楽、名曲のアレンジ演奏、ミュージカルの曲までジャンルを超えた幅広いレパートリーで楽しむことができましたが…子どもたちがちょっと退屈したかなあという感じもしました。後半は、オリジナルオペラ「アリとキリギリス」を演じました。オペラ歌手も芸人さながらに笑いを呼び込み、日々演奏の訓練を重ねているとのこと。私も子どもたちと一緒に大いに楽しむことができました。

最後に参加者全員で「ふるさと」「見上げてごらん夜の星を」を合唱して終了しました。合奏団の皆様、お疲れ様でした。夢のひとつをありがとうございました。



わたしの好きな言葉 「自分を大切にしよう」

岡 りつ

聖書で、イエス様が、私たちに「自分を愛するように あなたの隣人を愛せよ」(マタイによる福音書22章39節)と、述べられています。

この聖句は、キリスト者でなくても良く知られている、大変有名な教えです。

私は、特に、この聖句の、“隣人を愛する”ことの前置きとして、“自分を愛するように”と述べられている所に、心が惹かれます。

自分を愛する事が出来ない人は、隣人を愛することは難しい、或いはその資格さえ無いのではないかと思います。自分だけを愛するのは利己主義で良くない事で、何時も隣人と共に生きることが大切です。

然し、自分を愛する事、すなわち生かされている一人の人間として自分を見つめ、ありのままの自分を認めながら、一日一日を大切に過ごすことが出来ないで、どうして同じ人間としての隣人を愛することが出来るのでしょうか。

孔子も「徳は近きより遠きに及ぼす」と教えられていますが、最も近い存在は自分自身であり、次いで家族、友人、故郷であります。それらに思いを広げてこそ、始めて今日のグローバル時代に強調されている、地球上の共に生きる人々に思いが繋がって行くものと思います。

「自分を大切にしよう」自分を大切にこそ、隣人をも大切にすることが出来るものと思っています。

9月第2例会報告

日 時：2017年9月5日（火） 19：00～20：40

会 場：仙台YMCA立町会館 会議室

出席者：今澤・鈴木・田中・田村・中川・横倉・吉田

- ① 9月例会はかねて予定のゲストをお招きする。吉田ウィメンのコメット（次女）さんからのご紹介で、コンサルタント、通信販売等運営の起業家、佐々木孝さんをお招きする。演題は「あなたはどんな人？ 誰とでも仲良くなれる性格診断」
- ② 9/9（土）に宇都宮グランドホテルで開催される「第21回北東部会&宇都宮東クラブ25周年記念例会」には、今澤・佐々木・田村メネ・中川・横倉・吉田の6名が出席する。交通は広瀬川クラブ加藤さん手配のマイクロバスにて。
- ③ 9/23（土・祝）東北学院大学泉キャンパスで開催されるチャリティーランには、今年も2チームをエントリーする。皆さんの応援をお願いします。例会にて駐車許可証をお渡します。
- ④ 10/19開催のチャリティゴルフには今年も賞品提供として1万円を支援する。
- ⑤ 12/1開催の仙台YMCAクリスマスには例年通りの支援を行う。広告の協賛募集中です。
- ⑥ 各プログラムの実行委員会模様の報告と、次期開催日を確認する。
- ⑦ 9月東日本区ニュース（理事通信）の内容を皆で確認する。
- ⑧ 山中湖センターでのリーダーズフォーラムには1名、全国リーダーズ研修会には2名、それぞれ仙台YMCAより、リーダーを派遣参加する。

9～10月の主な予定

日 程	内 容
9月23日（祝）	仙台YMCAチャリティーラン 場所：東北学院大学泉キャンパス
9月26日（火）	仙台YMCA国際地域協力募金委員会 19：00～
9月27日（水）	仙台YMCAチャリティゴルフ委員会 19：00～
10月19日（木）	仙台YMCAチャリティゴルフ 場所：泉国際ゴルフ倶楽部

編集後記

くり、ぶどう、まつたけ、なし、さんま、そして仙台に居たら忘れてはいけない芋煮汁など、秋はおいしい食べ物がいっぱい。食欲の秋、スポーツの秋、読書の秋などやることもいっぱい?? 今年の仙台の夏は雨ばかりでしたので、秋晴れの気持ちよい日が多いと気分も上がりますね。（Y. S）

